

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
208	経済学演習 (小倉義明)	通年	3年以上：4単位	小倉 義明 政政・経演・国演

**副題**  
Subtitle 金融制度、規制、取引慣行の理論と実態

**授業概要**  
Course Description 2007年半ばから現在に至る金融危機の原因のひとつが、金融技術革新に規制が充分に対応できていなかったことにあるとの反省から、欧米を中心に金融再規制の議論が盛んに行われてきた。規制内容の是非については依然として議論の余地が残るものの、そのような議論の一応の帰結の代表例が2010年に米国で制定されたDodd-Frank法である。日本もこうした新規制の潮流の外にあるわけではない。この最近の劇的な変化を題材として、金融制度、規制、あるいは取引慣行の背景にある金融理論の基本ロジックを学ぶと同時に、自らロジックを組み立て、文章あるいはプレゼンテーションとしてそれを表現する訓練をする。

**授業の到達目標**  
Objectives この演習では、以下の4点を目標とする。  
1. 金融制度、規制、取引慣行の背景にある金融理論のロジックを体系的に理解すること。  
2. 最近の金融制度に関する議論とその意味を知ること。  
3. 自分の前提とする仮定を意識しつつ、自らロジックを組み立て、それを表現できるようになること。  
4. 英語による情報収集に慣れること。

**授業計画**  
Course Schedule 第1回：オリエンテーション・打ち合わせ  
第2 - 7回：テキスト輪読・検討 Part 2: Systemic Risk (毎回2名程度が担当箇所を報告)  
第8 - 11回：テキスト輪読・検討 Part 3: Shadow Banking  
第12 - 14回：テキスト輪読・検討 Part 4: Credit Markets  
第15回：ゼミ論文構想発表会  
第16 - 26回：指定する学術論文の輪読・検討  
第27 - 30回：ゼミ論文報告・検討会

**教科書**  
Textbook(s) 前期： Acharya, V., T. Cooley, M. Richardson, and I. Walter, *Regulating Wall Street: The Dodd-Frank Act and the New Architecture of Global Finance*, 2011, John Wiley & Sons.  
後期： 金融制度・規制・取引慣行に関連する重要な学術論文を指定する。

**参考文献**  
Reference Book(s) 授業中に関連する論文等を紹介する。

評価方法 Evaluation	割合(%) Percent(%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)	%	
レポート Report(s)	30 %	3年生後期終了時にゼミ論文を提出すること。
平常点評価 Class Participation	70 %	出席。報告。議論への活発な参加。
その他 Other	%	

**備考**  
Note ミクロ経済学 ・ 、マクロ経済学 ・ 、金融論を履修済みであること、あるいは並行して履修していることが望ましい。  
計量経済学 ・ を並行して履修すると論文テーマの幅が広がるのでなお良い。

私事ですが、2012年4月着任予定です。以下のサイトに自己紹介があります。

関連URL  
URLs for References

[http://www.ritsumei.ac.jp/~yogura/index\\_ogura.html](http://www.ritsumei.ac.jp/~yogura/index_ogura.html)